

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	こうりゅう虹保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 2 年 2 月 20 日

総 評	<p>こうりゅう虹保育園は京丹後市久美浜町に位置し平成28年4月に京丹後市より公設民営保育園として、社会福祉法人不動園に委託され、平成29年4月より民営化された定員120名の保育園です。</p> <p>「感動そして共感と信頼」を法人の理念に掲げ「人生の根っこを育てるこうりゅう虹保育園1000笑顔満開」のビジョンの下「生き生きとした子どもを目指して」一人一人に寄り添い子どもの主体性を第一に考え、広い園庭や自然体験を中心に自然を生かした造形、表現活動、食育活動に力を注いでいます。</p> <p>園内は子どもたちの作品で溢れ、子どもたちは元気な挨拶と溢れる笑顔で伸び伸びと過ごしています。職員のチームワークや笑顔を大切にした保育を心がけています。</p> <p>保護者のニーズに応え、休日保育や夜8時までの延長保育、さらに一時保育、第一、第三金曜日の未就園児への園庭開放、毎週金曜日の在園児親子への園庭開放などを行っています。</p> <p>地域に対しては、子育て支援センター事業や子育てサポートセンター「虹広場」等未就園児親子の子育て支援や相談事業も行っていきます。</p> <p>地域の高齢者施設訪問や、地元の高校生と花と野菜の種まきやお米作りをするなど世代間交流や多くの方々と交流し、心豊かで、思いやりのある子、様々な体験を通して豊かな感性や心身の発達を促す等園の保育方針やめざす子ども像に向かって保育しています。また、地域の子育てセンターとして保育園が有する機能も地域に多く還元しています。</p>
特に良「かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、日々の子どもの活動をドキュメントとして写真とコメントで保育の様子をまとめた記録を作り、保護者や地域の人々に見やすく分かりやすく、提供しています。「今日の一日」とし玄関に掲示しています。 「生き生きした子ども」「楽しい体験」をスローガンに、「クッキング保育」や「世代間交流事業」などに取り組んでいます。 地域に対して「子育て支援情報」や「健康だより」などの発信や地域の人と園児が交流する「虹ひろば」講習会の開催、災害時の福祉避難場所の指定を受け災害時の協力、子育て支援センターとして子育ての充実、相談事業など、地域と深く関わっています。
特・に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> こうりゅう虹保育園の1000の笑顔満開のビジョンをもって園の運営を執り行っています。今後の3～5年の人口動向は把握していますが収支計画の策定までは至っていません。人材確保や財務の分析など行い収支計画も策定されると良いでしょう。 保育の標準的実施方法が文書化されていません。標準的な保育の実施方法を策定して保育を行い、職員でそれを共有、検証すると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

1

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	こうりゅう虹保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	令和2年2月20日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

・法人の理念、方針は法人のパンフレット、保育園のしおり、ホームページにも記載され玄関、保育室、職員室にも掲示されています。保護者には入園説明会、総会時に資料と共に説明し、職員には理念等携帯用印刷物に記載され周知しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b

[自由記述欄]

・社会福祉事業全体の動向について行政の資料や地域の福祉ニーズを把握しており、毎月法人本部において管理職会議が行われ、経営分析や課題を共有しています。また、年に1~2回の経営ヒアリングで経営状況、運営状況など明確にし取り組んでいますが、職員に周知するまでには至っていません。今後は職員の意見を聞き、事業計画に反映し、取り組まれると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	② 中・長期的を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	② 事業計画は、保護者などに周知され、理解を促している	b	b

買反省も

・園として目指すビジョンは明確化し、単年度と2、3年後の事業計画も職員が参画し策定されています。今後は、4~5年を見据えた事業計画の策定や収支計画を策定されると良いでしょう。

・単年度の事業計画は策定し、事業の充実を図っています。年度末には評価・反省も行い次年度に繋げています。

・事業計画の策定は職員の意見や実施状況、評価・反省も行い、次年度の事業計画に反映し職員へ周知され理解を促す取り組みも行っています。今後は、会議録に記載し、全職員に回覧されると良いでしょう。

・年間事業計画を入園のしおりに組み込み内容については入園説明会総会でスライドを上映し説明して周知しています。今後は、保護者への情報提供など実施した内容を記録に残す等記録の管理に取り組まれると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	b

[自由記述欄]

・職員間で日々の保育内容の見直しなど毎月職員会議で振り返り、評価・反省が行われています。今後は、評価基準に基づいて園の自己評価を組織的に取り組まれると良いでしょう。

・開園から4年目で第三者評価は初めての受診です。より質の高い保育の提供を目指し、これまでの実績を活かすよう園全体の自己評価に取り組まれると良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

[自由記述欄]

- ・施設長自らの役割と責任を職務分掌で職員に表明し、保護者には毎月の園だよりで伝えていきます。施設長不在時の権限を明確化し、遵守すべき法令をリスト化するなど、今後は、全職員が常に確認できるように工夫されると良いでしょう。
- ・施設長は、日々の保育内容を把握し保育の具体的にアドバイスをするなど、保育の質に関する課題を自ら把握し改善を図っています。
- ・施設長は、毎月経営分析を行い収支の報告を法人本部に報告しています。また、職員の働きやすい職場環境整備として経営の改善や業務の実効性を高めるための人員配置に取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15	② 総合的人事管理が行われている	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

- ・人材確保や人材育成に対して法人としてインセンティブ制度を実施しています。職員と年2回面談を行うなど人材の定着に繋げています。
- ・法人の理念基本方針に「期待される職員像」を明確にし評価として年2回人事考課を実施しています。職員にスキルアップ支援シートの提出を求め、それに基づき個人面談も実施しています。
- ・法人として年1回自己評価申告シートの提出を求めています。また、年2回の面談を通してメンタルヘルスの把握及び職務に対する意向や年次有給休暇の取得状況、時間外勤務労働の状況を常に把握しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	A
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

- ・年2回職員と個人面談を行い保育に関する意見や要望等を聞き取り、各職員にスキルアップ支援シートに個々の目標を設定してもらい一人一人の育成に取り組んでいます。
- ・職員一人一人が教育研修計画に基づき参加する機会を確認し、職種別研修の機会を設けています。
- ・実習生やボランティアの受け入れについてはマニュアルに基づき、基本的な考え方を明確にしています。今後は、受け入れから研修育成までに関するマニュアルやカリキュラムを策定し取り組まれると良いでしょう。

評価分類		通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組みが行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・運営の透明性を図るため、法人のホームページに財務諸表等の情報を公表しています。地域に向けては保育園の要覧や地域子育て支援センターの便りは京丹後市市民局に置き地域に配布するなど取り組んでいます。園だよりなどで地域の自治会に回覧し、園の子どもの様子や事業活動を地域に発信されると良いでしょう。</p> <p>・外部監査による財務と経営に関する指導助言を受け経営改善を実施しています。また、公認会計士から内部統制の指導を受け透明性の高い適正な経営・運営を行っています。</p>					

	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している	a	a
		27	② 地域の保育にニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている	c	b
保育の質の向上のため地域の機関と					
<p>・園児は地域の祭りに参加したり地域の文化祭に作品を出品し、町内の5歳児の交流の場として地域の運動会へ職員と参加しています。また、年2回の高齢者施設を訪問し、その返礼として高齢者が園へ訪問する等交流を行っています。中学生の職場体験を受け入れ、地元高校生との野菜づくりなども行っています。園としては毎月第一、第三金曜日には未就園児への園庭開放、毎週金曜日の在園児親子への園庭開放を行い地域の未就園児と保護者へ遊び場を提供しています。</p> <p>・子どもの保育の質の向上のために地域の機関とネットワークづくりを進め子育てに関する地域の社会資源の情報を収集し、チラシやポスターを玄関に置いたり、掲示したりして地域の人に知らせると共に職員間で情報を共有しています。</p> <p>・「子育て支援情報」、の発信地域の親子と交流する「虹の広場」子育て支援センターとして子育ての充実、相談事業、講演会の開催等園が有する機能を地域に還元しています。</p> <p>・民生・児童委員を通して公民館、学校、地域の連絡協議会で地域のニーズを把握し未就園児の園体験「虹広場」を通して園行事に参加を呼びかける等、園庭開放、畑づくりや世代間交流等事業活動を行っています。</p>					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	b
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

・理念や基本方針に子どもの人権やプライバシー保護の記載があり職員室にも掲示されています。今後は、プライバシー保護、人権について園の姿勢などを明文化すると良いでしょう。

・入園時、見学時に入園のしおりで分かりやすく説明し個人懇談で園の方針や内容も説明を行っています。今後は、重要事項説明書に個人情報保護に関する内容を盛り込み、同意をとると良いでしょう。

・保育園を転園する場合は、保育の継続性に配慮して口頭で伝えるだけでなく、重要事項説明書に保育終了後の相談方法や担当者名を記載した文書を盛り込むと良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]

・苦情解決のしくみは整備され第三者委員の連絡先も園内に掲示され周知を図っています。

・意見箱を設置し苦情や意見を受け付けています。意見、要望、苦情などの記録や手順などに対する対応マニュアルを整備し定期的に見直しをし、内容について職員間で共有されると良いでしょう

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b

・子どもの安心・安全対策については、ヒヤリハットの記録、事故報告書で職員に周知し、共有していますが、要因を分析し改善策を樹立するまでには至っていません。今後は、子どもの安心・安全確保のためにもリスクマネジメント規程を策定し職員研修を行い、再発防止対策を実施すると良いでしょう。

・感染症対応マニュアルを作成し、予防や発生時の対応等を職員に周知し、保護者には掲示と配布で情報を提供しています。積極的な感染予防に努め保護者に注意を促す感染蔓延防止の研修と職員に周知徹底をされると良いでしょう。

・災害時の対応体制が策定され消防署と連携して子どもの安全対策を講じています。災害発生マニュアルや安全マニュアルを作成するとともに、備蓄リストを作成し備蓄品を整備されると良いでしょう。

・防犯マニュアルを整備し、防犯カメラも設置しています。不審者侵入時対応マニュアルを整備し定期的に見直しをされると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	c	c
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	c
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	c	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	b
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b
[自由記述欄]						
<p>・保育について、標準的な実施方法が文書化されていません。標準的な保育の実施方法を文書化し、保育の一定水準、内容を常に実現するためにも保育の実施方法を明文化し職員でそれを共有、検証するようにすると良いでしょう。</p> <p>・配慮を要するを子どもの生活状況や身体状況を踏まえて、個別指導計画を作成しています。今後は、保護者の意見や園児に関する情報収集を通じた課題を分析し、保護者に対する同意を含んだ手順の明確化をされると良いでしょう。</p> <p>・年間、月間、週案など各指導計画の評価・反省を月末に行い次月の指導計画に反映していますが、園として記録の方法や指導計画の評価・見直しの手順が明文化されていません。今後は、マニュアル（標準的実施方法）に反映されるような仕組みを構築されると良いでしょう。</p> <p>・子どもに関する記録の管理体制については、情報漏洩対策を十分検討し書面にされるとともに、電子データの取り扱いについても書面にされると良いでしょう。</p>						

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	b
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

・子どもが快適に生活できるように努めていますが、少し園内が暗く感じられました。朝の登園時から子どもたちが心地よく過ごすことができるよう、職員間で共通理解を持ち、一日中快適な居場所となるよう園内の採光や室温に配慮されると良いでしょう。

・周りの豊かな自然を活かした体験として、地域の方と協力のもと子どもたちは稲刈り、ブルーベリーの摘み取り体験などをしています。また、園内に子育て支援センターを併設していて、地域の親子が利用し、園児と交流しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき、喜んで遊べる	b	b
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

・乳児の保育室は床暖房が完備されています。

・園内には子どものたちの日々の様子が分かる写真をたくさん掲示されています。また、毎月の園だよりには文章と写真も入れて子どもの様子を知らせていて、保育園の情報はホームページでも見ることができます。

・広い廊下の端や廊下に置いてあるメダカの水槽や雛人形の前で、ゆったり過ごしている子どもの姿を見られます。

・指導計画に長時間保育についての記入が見られませんでした。今後は室温や採光などの環境設定や受け入れ時の配慮などを記入し園全体で共通認識をもたれると良いでしょう。

・5歳児の年間計画に小学校との連携、就学について記載し、小学校以降の生活について見通しが持てるように小学校と交流(体験入学)し、また、公開保育に小学校教諭に参加してもらったり、遊びと学びを繋ぐ「スタートプログラム」「アプローチカリキュラム」を作成しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	b
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

・午睡のチェック表があり15分に1回の記録をみましたが、今後は、乳児一人一人の午睡時間に合わせて、0歳児は5分毎、1、2歳児は10分毎に子どもの様子を観察し、一人一人に合わせて記録を残されると良いでしょう。

・食物アレルギーの子どもには医師の指示書に基づいて対応しています。アレルギー対応食は色の違う食器を使用しトレーに乗せてラップをして名前を書き、誤食防止に努めています。

・子どもたちが摘み取ってきたヨモギを使ったヨモギ団子や収穫した野菜を使った夏野菜カレーなど季節感のある献立や丹後寿司や月見団子など地域の食文化や行事食を取り入れています。また、おやつも手作りのおやつを毎日提供しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

・0～2歳児は毎日連絡帳で、3歳以上児はお迎え時に口頭、またはボードに掲示された写真や文書で子どもの様子や食事の状況を保護者に伝えていきます。

・担任や園長は保護者が相談しやすいように積極的にコミュニケーションを持ち相談を受けていますが、その記録はありません。今後は、それらを記録に残し、必要に応じて関係職員で共通理解を図っていかれると良いでしょう。

・保育者は学期ごとに各自評価を行い自分の保育を振り返り、保育の質の向上や改善を行っています。今後は、その振り返りを園全体の自己評価に繋げていけるとさらに良いでしょう。